



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月8日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	59,694	19.7	2,884	23.0	3,025	19.4	1,957	11.1
2025年6月期第3四半期	49,885	21.7	2,345	61.2	2,534	88.9	1,761	111.3

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 2,074百万円(46.9%) 2025年6月期第3四半期 1,411百万円(46.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	20.09	15.95
2025年6月期第3四半期	22.32	14.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	39,145	22,578	54.9
2025年6月期	34,601	17,007	46.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 21,506百万円 2025年6月期 15,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	20.7	3,800	20.1	3,800	14.8	2,650	13.9	27.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期3Q	102,661,967株	2025年6月期	91,754,577株
------------	--------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年6月期3Q	2,632,769株	2025年6月期	2,693,618株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期3Q	97,408,909株	2025年6月期3Q	78,897,985株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の変動やサプライチェーンへの影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、長引く物価高が家計を圧迫し、生活防衛意識の高まりによって個人消費は足踏みの状態が続いております。生活者の間では節約志向に加え、購入対象を厳しく吟味する選別消費の動きが一段と強まりました。

化粧品業界におきましても、インバウンド需要は訪日客数の面では回復傾向にあるものの、地政学的リスクやアジア圏の経済停滞を背景に、特定の国・地域からの購入単価や需要には鈍化が見られます。また、為替水準の変動や海外景気の先行き不透明感から、インバウンド消費には引き続き注視が必要な状況にあります。

当社グループは、2024年8月に発表しました中期事業方針に基づき、リテール事業（EC・店舗）の拡大を通じてユーザーとの接点やデータを増やし、それらをマーケティング支援事業（BtoBサービス）でマネタイズすることで、中期事業目標である連結売上高1,000億円、連結営業利益80億円の達成を目指しております。

2026年6月期は中期事業方針の2年目にあたり、次の成長フェーズへの飛躍に向けた「戦略的投資の年」と位置づけています。

将来的な営業利益の源泉となる売上高は、国内事業の全体的なオーガニック成長に加え、グローバル事業における香港旗艦店「@cosme HONG KONG」（2025年12月5日オープン）によって拡大を図ってまいります。

そして中長期成長に向け、各セグメントでの人材採用やシステム投資等の強化に加え、新規事業等への投資を拡大いたします。マーケティング支援事業では、我々が保有する独自データを活用したデータコンサルティングを新たな収益の柱とすべく、コンサルタントの採用に注力いたします。

当連結会計年度の営業利益は前年同期比20.1%増を計画しておりますが、営業利益率は前述の先行投資に伴い前期と同水準となる見通しです。本年度は来期以降の成長に向けた助走期間と位置づけ、戦略的な事業基盤の強化と将来成長を見据えた投資拡大により、中長期的な企業価値向上を目指します。

当第3四半期連結累計期間における概況は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業が業績を牽引したことに加え、香港旗艦店が寄与したことにより前年同期比19.7%の増収となりました。

営業利益におきましては、売上高と同様にマーケティング支援事業及びリテール事業が増益に寄与し、23.0%の増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	59,694百万円	（前年同期 49,885百万円 / 前年同期比 19.7%増）
営業利益	2,884百万円	（前年同期 2,345百万円 / 前年同期比 23.0%増）
経常利益	3,025百万円	（前年同期 2,534百万円 / 前年同期比 19.4%増）
税金等調整前四半期純利益	3,026百万円	（前年同期 2,531百万円 / 前年同期比 19.6%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,957百万円	（前年同期 1,761百万円 / 前年同期比 11.1%増）

① マーケティング支援事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやデータドリブンソリューションが属しております。

売上高におきましては、リテール事業のECと店舗における接点を活用した販売促進施策の好調などを背景に、引き続き大手および新たな中堅ブランドとの取引規模が増加したことにより前年同期比27.0%の増収となりました。

営業利益におきましては、限界利益率の高い事業モデルが効率的な利益拡大につながり、前年同期比26.2%の増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	8,968百万円	（前年同期 7,063百万円 / 前年同期比 27.0%増）
営業利益	2,606百万円	（前年同期 2,065百万円 / 前年同期比 26.2%増）

② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、今後のさらなるサービスレベル向上を目的とした物流倉庫の移転に伴う一時的な機会損失がありつつも、引き続きプラットフォーム連携による新規顧客の獲得により前年同期比19.7%の増収となりました。店舗では、地政学的な影響による一部インバウンド客の減少や、地方店舗における成長率の鈍化が見られたものの、「@cosme NAGOYA」等の新店寄与により前年同期比17.0%の増収となりました。結果として、セグメント全体では前年同期比17.9%の増収にて着地しました。

営業利益におきましては、増収寄与により21.0%の増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	45,573百万円（前年同期 38,649百万円 / 前年同期比 17.9%増）
営業利益	2,601百万円（前年同期 2,149百万円 / 前年同期比 21.0%増）

③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、中国越境ECが復調したことに加え、香港旗艦店の売上が寄与したことによりセグメント全体で前年同期比31.0%の増収となりました。

営業利益におきましては、香港旗艦店において上期でオープン関連費用251百万円を計上したことやオープン後の売上高が当初計画を下回ったことにより、人件費等を吸収しきれず、セグメント全体では赤字幅を拡大しての着地となりました。なお、同店舗につきましては、来期以降に本格的な収益貢献を見込んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,998百万円（前年同期 3,052百万円 / 前年同期比 31.0%増）
営業損失（△）	△327百万円（前年同期 △70百万円）

④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高におきましては、美容部員の人材派遣事業が復調したことを受け、前年同期比3.0%の増収となりました。

営業利益におきましては、BtoC課金サービスの1つである「BLOOMBOX」が前期の2024年12月で終了した影響や2025年7月にローンチしたサプリメント事業の先行費用により、前年同期比61.3%の減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,155百万円（前年同期 1,121百万円 / 前年同期比 3.0%増）
営業利益	63百万円（前年同期 163百万円 / 前年同期比 61.3%減）

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,544百万円増加し、39,145百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ3,713百万円増加し、24,754百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,352百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が360百万円、商品が1,537百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ831百万円増加し、14,391百万円となりました。これは主に、有形固定資産が514百万円、ソフトウェアが590百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,027百万円減少し、16,567百万円と

なりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ917百万円減少し、11,775百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,000百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ110百万円減少し、4,792百万円となりました。これは主に、長期借入金が224百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ5,571百万円増加し、22,578百万円となりました。これは主に、資本金が1,811百万円、資本剰余金が1,819百万円、利益剰余金が1,868百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期通期の連結業績予想につきましては、2025年8月12日の決算短信で公表いたしました内容から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,224	8,576
受取手形、売掛金及び契約資産	5,535	5,896
商品	6,415	7,951
営業投資有価証券	964	1,053
その他	913	1,287
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	21,041	24,754
固定資産		
有形固定資産	3,589	4,103
無形固定資産		
のれん	937	796
ソフトウェア	1,912	2,502
その他	781	810
無形固定資産合計	3,630	4,108
投資その他の資産		
投資有価証券	3,511	3,498
敷金及び保証金	1,907	1,932
その他	925	750
投資その他の資産合計	6,342	6,180
固定資産合計	13,560	14,391
資産合計	34,601	39,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	5,729
短期借入金	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,198	1,590
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	1,500	—
未払法人税等	626	533
賞与引当金	453	249
その他	4,505	3,674
流動負債合計	12,692	11,775
固定負債		
長期借入金	3,857	3,633
その他	1,045	1,159
固定負債合計	4,902	4,792
負債合計	17,594	16,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,179	8,990
資本剰余金	2,314	4,132
利益剰余金	5,645	7,513
自己株式	△280	△273
株主資本合計	14,858	20,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67	△81
為替換算調整勘定	1,109	1,225
その他の包括利益累計額合計	1,043	1,144
新株予約権	955	935
非支配株主持分	151	137
純資産合計	17,007	22,578
負債純資産合計	34,601	39,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	49,885	59,694
売上原価	28,307	34,354
売上総利益	21,578	25,340
販売費及び一般管理費	19,233	22,457
営業利益	2,345	2,884
営業外収益		
受取利息	8	17
受取配当金	3	3
為替差益	32	29
持分法による投資利益	150	132
投資事業組合運用益	4	3
その他	36	39
営業外収益合計	233	224
営業外費用		
支払利息	41	54
株式交付費	—	23
投資事業組合運用損	1	3
支払手数料	1	—
その他	1	3
営業外費用合計	45	82
経常利益	2,534	3,025
特別利益		
新株予約権戻入益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
その他	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	2,531	3,026
法人税等	759	1,054
四半期純利益	1,772	1,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,761	1,957

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,772	1,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	26
為替換算調整勘定	△276	117
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△40
その他の包括利益合計	△360	102
四半期包括利益	1,411	2,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,411	2,059
非支配株主に係る四半期包括利益	0	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

当社は、2024年8月20日開催の取締役会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を2,811百万円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を2,811百万円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補を行っております。

この欠損填補等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,003百万円、利益剰余金が5,079百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

当第3四半期連結累計期間に第9回及び第26回新株予約権の権利行使が行われ、資本金及び資本剰余金が1,061百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換権行使が行われ、資本金及び資本剰余金が750百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が8,990百万円、資本剰余金が4,132百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケテ ィング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバ ル事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	38,649	2,419	41,067	1	41,068	—	41,068
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	7,063	—	633	7,696	1,121	8,817	—	8,817
顧客との契約から生じる収益	7,063	38,649	3,052	48,763	1,121	49,885	—	49,885
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,063	38,649	3,052	48,763	1,121	49,885	—	49,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,205	76	1	1,282	29	1,311	△1,311	—
計	8,268	38,725	3,052	50,045	1,151	51,196	△1,311	49,885
セグメント利益又は損失(△)	2,065	2,149	△70	4,144	163	4,307	△1,962	2,345

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,962百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,962百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバ ル事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	45,573	3,252	48,826	19	48,845	—	48,845
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	8,968	—	746	9,714	1,091	10,806	—	10,806
顧客との契約から生じる収益	8,968	45,573	3,998	58,540	1,111	59,650	—	59,650
その他の収益	—	—	—	—	44	44	—	44
外部顧客への売上高	8,968	45,573	3,998	58,540	1,155	59,694	—	59,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,394	307	31	1,733	56	1,789	△1,789	—
計	10,363	45,881	4,030	60,273	1,210	61,484	△1,789	59,694
セグメント利益又は損失(△)	2,606	2,601	△327	4,880	63	4,943	△2,059	2,884

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,059百万円は、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,059百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,293百万円	1,682百万円
のれんの償却額	152百万円	157百万円